

V 重点整備地区の現状と課題

1. 特定旅客施設の現状と課題

(1) 南海河内長野駅

車椅子ではアクセスできないため、駅前広場からホームまでの経路の段差解消が最も大きな整備課題となっています。また、車椅子利用者などが使える、多目的トイレの整備も課題となっています。

その他にワークショップでは、視覚障害者の情報提供や安全な誘導として、誘導ブロックや手すり、点字案内の改善が、聴覚障害者への情報提供として、サインの充実、利用しやすい券売機の改善やホームの安全確保も課題となっています。

表 南海河内長野駅の現状と課題

項 目	課題	写真
各ホームへのアクセス	駅広場→改札はエスカレーター（一方向のみ） 改札→ホームは階段のみ	写真1 写真2
車いすで使用可能な便所	なし	写真3
誘導ブロック	敷設済み（改善が必要）	
券売機等の使いやすさ	車いす対応に課題あり	
ホーム列車案内	音声のみ	写真4
待合室	あり（改善が必要）	

表 車いす利用者の状況（人）

	電動車いす	手動車いす	合計	日平均
平成13年11/1～11/20	37	12	49	2.45

資料提供：南海電気鉄道㈱



写真1 駅前広場から改札へのエスカレーター



写真2 改札からホームへの段差（階段）



写真3 車いすの利用が難しいトイレ



写真4 ホーム

（２）近鉄河内長野駅

駅東口からホームへのアプローチには、インターホンと車椅子用スロープが整備されています。しかし、南海との相互乗換えには迂回が必要であり、経路の段差解消が整備課題となっています。また、南海駅と同様に車椅子利用者などが使える、多目的トイレの整備も課題となっています。

その他にワークショップでは、視覚障害者への情報提供や安全な誘導、聴覚障害者への情報提供、利用しやすい券売機の改善やホームの安全確保などが課題となっています。

表 近鉄河内長野駅の現状と課題

項 目	課題	写真
各ホームへのアクセス	駅東口→ホーム 人的対応のスロープ 改札→ホームはエスカレーター（一方向のみ）	写真1 写真2
車いすで使用可能な便所	なし	写真3
誘導ブロック	敷設済み（改善が必要）	
券売機等の使いやすさ	車いす対応に課題あり	
ホーム列車接近案内	音声のみ	写真4
待合室	あり（改善が必要）	

表 車いす利用者の状況（人）

	電動車いす	手動車いす	合計	日平均
平成13年4/1～4/30	34	31	65	2.2
平成13年10/1～10/31	20	42	62	2.0

資料提供：近畿日本鉄道㈱



写真1 ホームへのスロープ入口



写真2 改札からホームへのエスカレーター

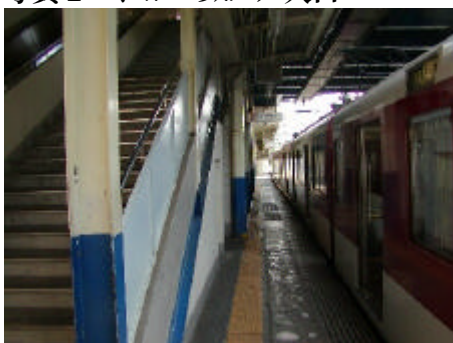


写真3 車いすの利用が難しいトイレ



写真4 ホーム

(3) ワークショップにおける利用者の意見と整備課題

ワークショップにおける利用者の意見や、整備について事業者の考えを整理しました。

表 ワークショップにおける利用者の意見と整備課題

現 状		ワークショップにおける利用者の意見	整備課題
経路の段差解消	駅前広場 →改札	【電動車椅子利用者】 ・車椅子利用者は、電車に乗る時、事前に電話連絡をしておく必要がある。 ・エレベーター、エスカレーター、階段昇降機がないので不便。 【手動車椅子利用者】 ・駅舎にエレベーターがないため、車椅子で利用できない。 【視覚障害者】 ・エスカレーターへの誘導ブロックがない。 【聴覚障害者】 ・エレベーターの設置は必要（駅・ホーム）。 【高齢者】 ・南海エスカレーターは身障者用に切り替わる場合、時間を要しピーク時混雑するのでは？。	駅前広場→改札の段差の解消 駅前広場にエレベーターの整備
	エスカレーター上りのみ	駅広場→改札 エスカレーターが整備されているが上りのみである。車椅子利用者対応でインターホンも設置されている。エスカレーターの位置を知らせる音声誘導がない。ノバティ北館のエレベーターは営業時間外は使えない。	



近鉄ホームへのスロープ入口
インターホンが設置されている



近鉄のエスカレーター
車椅子で利用する



南海ホームへの階段
車椅子利用者の階段担ぎおろし

現 状			ワークショップにおける利用者の意見	整備課題
経路の段差 解消	南海 河内長野駅 改札→ホーム 階段のみ	南海河内長野駅 改札→各ホーム 階段しかないため車椅子利用者は利用できない。	【電動車椅子利用者】 ・車椅子利用者は、電車に乗る時、事前に電話連絡をしておく必要がある。 ・エレベーター、エスカレーター、階段昇降機がないので不便。 【手動車椅子利用者】 ・駅舎にエレベーターがないため、車椅子で利用できない。 【聴覚障害者】 ・エレベーターの設置は必要（駅・ホーム）。	改札→ホームの段差の解消 改札内各ホームにエレベーターの整備
	近鉄 河内長野駅 改札→ホーム ホームへのスロープ（インターホン の設置） 改札からホームへエスカレーターが整備されている（上りのみ）	近鉄河内長野駅 改札→各ホーム エスカレーターが整備されているが上りのみである。 車椅子対応型ではない。 エスカレーターの位置を知らせる音声誘導がない。 道路→ホーム 車椅子利用者用の直通通路（インターホン設置）が整備されている。 車椅子利用者にとって、近鉄から南海への乗り換えは遠回りになる。	【電動車椅子利用者】 ・ホームのエスカレーターで上げてもらったが、傾斜が怖かった（駅構内のエスカレーターはフラットにならない）。 ・エスカレーターの車椅子利用は、通勤時間帯は困難である。 ・車内直接通路には券売機がない。 ・車内直接通路は駅広場から遠い。 ・車椅子利用者は、電車に乗る時、事前に電話連絡をしておく必要がある。 【手動車椅子利用者】 ・駅舎にエレベーターがないため、車椅子で利用できない。 ・出入口（駅東側）の出入口スロープが車椅子ではきつい。 【視覚障害者】 ・スロープ進入道からホームへの入口が常閉になっているが、視覚障害者も利用したい。 ・エスカレーターへの誘導ブロックがない。 【聴覚障害者】 ・エレベーターの設置は必要（駅・ホーム）。 【高齢者】 ・スロープ ホーム側インターホン標識無し。	改札→ホームの段差の解消 改札内各ホームにエレベーターの整備
	エレベーター整備について		【聴覚障害者】 ・エレベーターの扉は透明にして欲しい。聴覚障害者は何かあった時、インターホンでは話ができない。	

現 状		ワークショップにおける利用者の意見	整備課題
車椅子利用者や子ども連れなどが使える多目的トイレ整備	両駅ともに車椅子トイレは未整備である。 駅前広場に車椅子トイレが整備されている。	南海河内長野駅 【電動車椅子利用者】 ・駅構内に障害者用のトイレが必要。 ・駅トイレが狭い 車イス用トイレを。 【手動車椅子利用者】 ・段差があり狭いため、車イス利用者は使えない。 【高齢者】 ・近鉄・南海の駅舎に身障者用トイレが無し。	車椅子利用者や子ども連れなど、誰もが利用できる多目的トイレ整備
		近鉄河内長野駅 【電動車椅子利用者】 ・駅構内に障害者用のトイレが必要。 ・駅トイレが狭い 車イス用トイレを。 【手動車椅子利用者】 ・出入口に段差があり狭く、車椅子では使えない。 ・洋式便器（腰掛け式）がない。 【高齢者】 ・近鉄・南海の駅舎に身障者用トイレが無し。	車椅子利用者や子ども連れなど、誰もが利用できる多目的トイレ整備
一般便房への配慮	両駅共に腰掛式便器は未整備である。 近鉄駅は床置き式小便器が未整備である。	南海河内長野駅 【視覚障害者】 ・南海河内長野駅のトイレは入口が狭く、手すりがない。 近鉄河内長野駅 【視覚障害者】 ・近鉄河内長野駅は階段の下にあり、トイレの入口が分かりにくい。	トイレ出入口の点字版及び案内板の設置 一般トイレへ洋式便器の設置



南海駅トイレの階段
段差を生じている



トイレ入口へ誘導ブロックが未整備
誘導ブロックが連続していない

現 状			ワークショップにおける利用者の意見	整備課題
情報提供 や安全な 誘導 (視覚障 害者等)	誘導ブロック の整備	両駅共に経路の誘 導ブロックが整備さ れている。 階段の段鼻が識別 しにくい。	【その他】 ・ 階段の段差もスベリ止めの色が似てい て、弱視者には段差が分かりにくい。	駅全体の誘導 ブロック再整備 階段の踏面端 部の明確化
	手すりの整備	階段に手すりが設 置されている。 近鉄駅は手すりの 点字案内が不十分 である。	南海河内長野駅 【視覚障害者】 ・ 南海ホームへの階段手すり支柱の金具が手 にひっかかる。 近鉄河内長野駅 【視覚障害者】 ・ 手すりに点字表示がない。 ・ 階段手すりが途中で切れていた。	階段手すりの 点字表示(文字 標示を併記)
	点字案内の 整備	ホームの転落防止は 警告ブロックのみで ある。	南海河内長野駅 【視覚障害者】 ・ 階段は下り優先の点字表示がない。 ・ 階段手すりの点字シールが識別できな い。 近鉄河内長野駅 【視覚障害者】 ・ 階段手すりが途中で切れていた。	点字シールの 再整備
	券売機等の 点字案内		近鉄河内長野駅 【視覚障害者】 ・ 運賃表に点字表示がない。	点字表示の設 置



ホームの警告ブロック
連結部分を扉と間違えて落ちる場合がある



ホームの幅が狭い
ホームの幅が狭く転落の危険性がある

現 状			ワークショップにおける利用者の意見	整備課題
情報提供 (聴覚障害者等)	サインなどの 情報提供	比較的小規模な駅であり、サインが有れば分かりやすい。 電車の入線案内が文字で行われている。	南海河内長野駅・近鉄河内長野駅 【電動車椅子利用者】 ・途中駅予定時刻（到着）を知らして欲しい。 ・時刻表をもう少し大きくして欲しい(字が小さくて見にくい)。 【聴覚障害者】 ・ホームで待つ時、電車がどこまで来ているのか、地下鉄のように表示して欲しい。 【その他】 ・電光掲示はあるものの緊急時にテロップは流れず緊急時表示できない。その際は急告板利用が必要である。 ・事故のときに、聴覚障害者には文字情報を提供するなど、緊急連絡が十分でない。 ・聴覚障害者には、電車の発車時のサインが必要（ランプ等）。 ・駅には聴覚障害者の公衆ファックス(送受信)が必要。	駅全体の案内サインの整備 公衆FAXの設置



駅前広場のトイレサイン
サインが小さいため見にくい



バス停の情報提供
バスの到着や出発、行き先を示すサインがほしい



南海電車の入線サイン



近鉄ホームの入線サイン

現 状		ワークショップにおける利用者の意見	整備課題
券売機の利用しやすさ	券売機が車椅子利用者に利用しにくい。	南海河内長野駅 【電動車椅子利用者】 ・券売機が平面なので車椅子では押しにくい。 【手動車椅子利用者】 ・券売機が平面なので車椅子では押しにくい。 ・定期券売り場ボタンが押しにくい（勾配がきつい 開スイッチが押せない）。 【聴覚障害者】 ・身体障害者用の割引切符を購入する機械のある所が分かりにくく、使用方法も南海と近鉄では違う。 【その他】 ・車いすの方は液晶の券売機の画面が見えにくい。 【高齢者】 ・南海ホームの特急券売機の投入口が高いのでは？。 近鉄河内長野駅 【電動車椅子利用者】 ・券売機の位置が高く、下に車いすが入らない為ボタンが押しにくい。車椅子利用者に対応した券売機が必要。 ・改札口の表示（○×）が見にくい。 【手動車椅子利用者】 ・券売機が平面なので車椅子では押しにくい。 【聴覚障害者】 ・身体障害者用の割引切符を購入する機械のある所が分かりにくく、使用方法も南海と近鉄では違う。 【その他】 ・車いすの方は液晶の券売機の画面が見えにくい。	誰もが利用しやすい、バリアフリー化された券売機の導入 車椅子利用者対応 視覚障害者対応 ＩＣカード等に対応した環境整備



券売機
車椅子利用者には手が届きにくい



近鉄河内長野駅改札口
車椅子用の自動改札

現 状		ワークショップにおける利用者の意見	整備課題
ホームの安全性確保	車椅子利用者にとって、ホームの幅員が十分でない。	南海河内長野駅 【手動車椅子利用者】 - ホーム上の誘導ブロックは杖の人は支障がある。 - ホームの待合室のドアのステップがないため、入りにくい。 - ホームの歩道幅 2m しかないため、人がいると車椅子では通れない。 【視覚障害者】 - ホーム上の誘導ブロックが電車との距離がまちまち。 - ホームの誘導ブロック不備（はがれ）がある。 - ホームから車両乗降扉への誘導ブロックがない（杖をついて扉の位置が分かるが連結部に落ちる可能性がある）。 - 車両とホームの間にすき間があり、転落の危険性がある。ホームドアがあれば安全。 - 改札口への誘導の点字ブロック 1 本しかない。 【その他】 - ホームの誘導ブロックすぐ横に柱があり、視覚障害者はぶつかってしまう。	聴覚障害者に配慮した、列車接近表示及び放送設備の整備 ホームの安全性の確保 ホーム上の誘導ブロック（警告）の改善 転落時の緊急押しボタン、待避場所の設置
	誘導ブロックと障害物（柱や壁）との感覚が十分確保されていない箇所がある。 車両乗降扉への誘導ブロックは整備されていない。	近鉄河内長野駅 【電動車椅子利用者】 - ホームの幅が狭く、通路部では車椅子が通りにくい。 - ホームの待合室の入口が狭く、車椅子では入りにくい。 【手動車椅子利用者】 - ホーム上の誘導ブロックは杖の人には支障がある。 - ホームの待合室ドアのステップがないため、入りにくい。 - ホームの幅 1.57m と 1.26m 人がいると車椅子では通れない。 【視覚障害者】 - ホーム上の誘導ブロックが電車との距離がまちまち。 - ホームの誘導ブロック不備（はがれ）がある。 - ホームから車両乗降扉への誘導ブロックがない（杖をついて扉の位置が分かるが連結部に落ちる可能性がある）。 - 車両とホームの間にすき間があり、転落の危険性がある。ホームドアがあれば安全。 - 改札口への誘導の点字ブロック 1 本しかない。 【その他】 - ホームの誘導ブロックすぐ横に柱があり、視覚障害者はぶつかってしまう。 【高齢者】 - 近鉄のホームが電車に比べて低いのでは？（段差 10cm）（南海の方が差が少ない）。 - 近鉄待合室 1 区と 1 区の間（W=1.0m）と狭い 南海（W=1.5m）。	

2. バスの現状と課題

現 状		ワークショップにおける利用者の意見	整備課題
低床バスの導入	2台（ノンステップバス）導入している。	低床バスの導入 ノンステップバスの台数不足	低床バスへの切り替え
【車輛】 視覚障害者、聴覚障害者への案内	視覚障害者、聴覚障害者への案内が十分ではない	バスの音声案内（到着・発車時）は聞き取りやすく繰り返して欲しい	視覚障害者への情報提供の配慮
		時刻表の電光表示	聴覚障害者への情報提供の配慮
		車内のバス停表示は前だけではなく横や後ろにも必要 発車、ドアの開閉についてアナウンス内容の文字表示	
【バス停】 バス到着情報の提供	バス到着案内のシステムがない	バスの到着情報のサイン・音声案内	バス到着情報の提供



ノンステップバス



ノンステップバス乗降口のスロープ
運転手の操作が必要



バス停の情報提供
バスの到着や出発、行き先を示すサインがほしい



バスの社内情報
バス停表示、ドアが開まるサインなど、聴覚障害者への配慮が必要

3. 移動経路等の現状と課題

(1) 移動経路の考え方

南海・近鉄河内長野駅からラブリーホール、河内長野市役所への移動経路については、道路の現状や利用状況、都市計画との整合等を踏まえ、高齢者や身体障害者等が利用しやすい最も重要な経路（特定経路）と、それを補完し面的なバリアフリー化を実現するための経路（準特定経路）を選定します。

特定経路：バリアフリー化の各基準に基づき、整備項目を実施する経路。

準特定経路：バリアフリー化の各基準に基づき、整備項目の実施に努める経路。

特定経路の国道 170 号、国道 310 号のバリアフリー基準に沿った事業実施は、市の総合計画などに基づくほかの事業にあわせて歩行者空間の確保に努めますが、事業の長期化が予想されることから、当面は、現況の改良で実施できるバリアフリー化を行います。また、補完機能のある準特定経路のバリアフリー化も併せて行い、面的な移動の円滑化を図ります。

表 経路の延長

	南海・近鉄河内長野駅～ラブリーホール～長野中学校			長野中学校～河内長野市役所		
	路線名	区分	延長m	路線名	区分	延長m
特定経路	A. 国道 170 号 (駅前広場～国道 310 号)	府	200	F. 西代 2 号線	市	200
	B. 国道 310 号 (国道 170 号～野作向野線)	府	300	G. 野作向野線	市	650
	C. 西代古野 2 号線 (国道 310 号～西代古野 1 号線)	市	200	H. 国道 170 号 大阪外環状線	府	370
	D. 西代古野 1 号線	市	50			
	E. 野作向野線	市	250			
準特定経路	a. 国道 170 号 (国道 310 号～ラブリーホール)	府	250	j. 西代本多 1 号線	市	180
	b. 国道 310 号 (野作向野線～)	府	250	k. 野作台 4 号線	市	150
	c. 本町 1 号線	市	90			
	d. 原町喜多線	市	200			
	e. 本町町井線 (アーケード)	市	200			
	f. 西代古野 2 号線 (原町喜多線～国道 310 号)	市	180			
	g. 長野駅前 1 号線	市	170			
	h. 国道 170 号～310 号 (駅東)	府	450			
	i. 浮世通線	市	200			

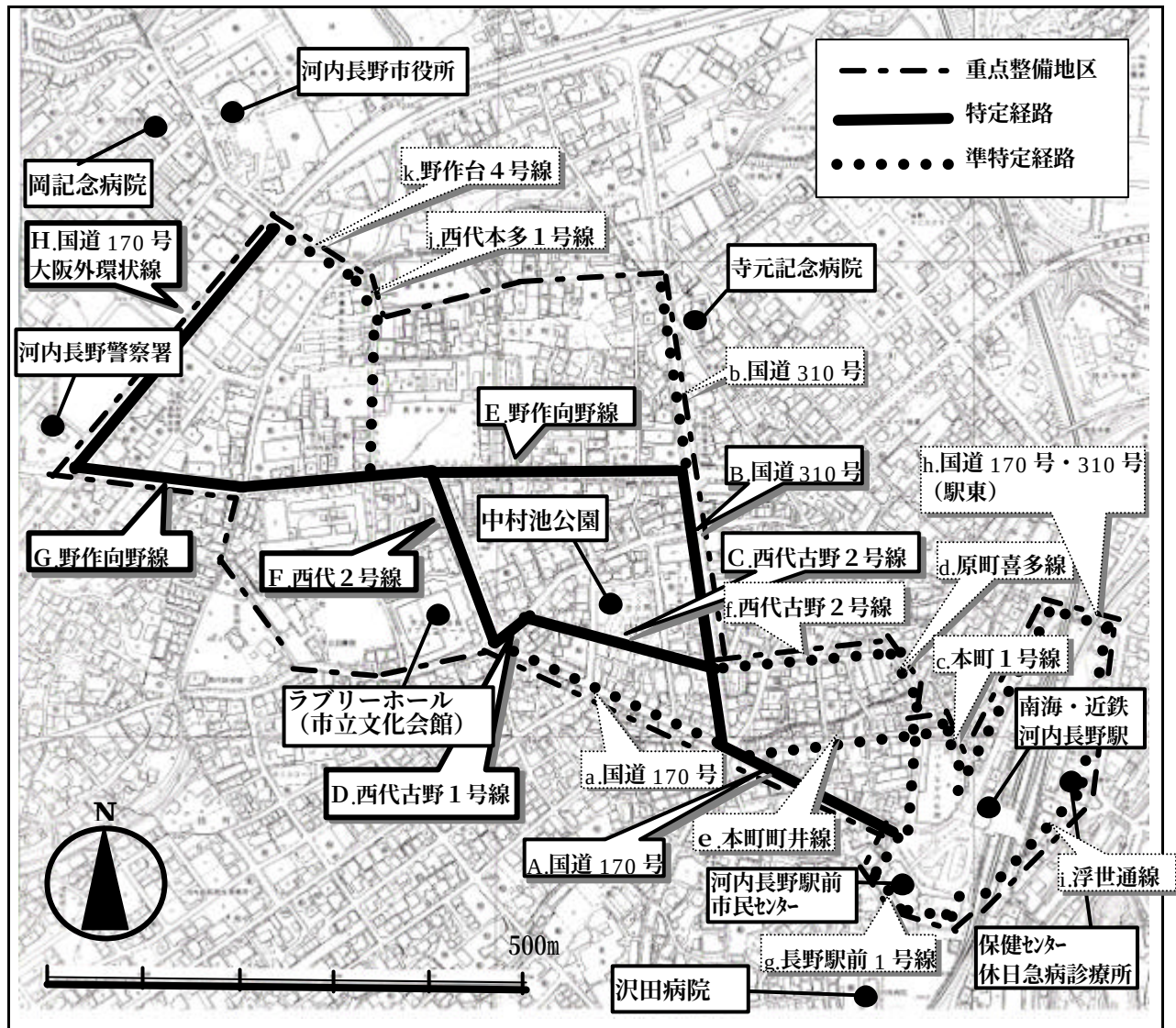


図 特定経路



駅前広場 歩道の障害物（駐輪、プランター）



B.国道310号 有効幅員の不足している両側歩道



d. 原町喜多線 障害物となる看板や駐輪



F.西代2号線 誘導ブロックの未整備



C、f 西代古野2号線 歩行者の安全確保



E. 野作向野線 誘導ブロックの未整備



A.国道170号 幅員不足の歩道、障害物の看板等



j.西代本多1号線 歩行者の安全確保



a.国道170号 歩道未整備の区間



k.野作台4号線 連続した誘導ブロックの改善

①南海・近鉄河内長野駅周辺～ラブリーホール～長野中学校

南海・近鉄河内長野駅からラブリーホールへの最短経路である国道 170 号は、第 3 次総合計画や都市計画マスタープランにおいてシンボルロードとして位置づけ、都市計画道路としての整備が計画されています。しかし、現状では歩道未整備の区間があり、歩道幅員が十分確保されていないなど、高齢者や障害者等の安全性確保に課題があります。また、都市計画道路整備による歩道整備や、バリアフリー基準に沿った事業実施は長期化が予想されます。このため、当面は歩道整備が課題となっている区間は準特定経路として、現況の改良で実施できるバリアフリー化を進めることが考えられます。

一方で原町喜多線～西代古野 1 号線は、歩道整備には課題がありますが、舗装などの再整備を行うなど、国道 170 号の迂回路として整備されています。

表 経路の現状 南海・近鉄河内長野駅～ラブリーホール～長野中学校

経 路	路線名	経路の現況
特定経路	A.国道 170 号 (駅前広場 ～国道 310 号)	駅前広場からラブリーホールまでの最短の経路で、シンボルロード位置づけられた都市計画道路です。 歩道幅員が十分確保されていない区間があるなど、高齢者や障害者等の安全性確保に課題があります。
	B.国道 310 号 (国道 170 号～ 野作向野線)	両側歩道が整備されている経路ですが、歩道幅員の確保やすり付けなど、利用しやすさの面で課題があります。
	C.西代古野 2 号線 (国道 310 号～ 西代古野 1 号線) D.西代古野 1 号線	連続して、インターロッキング舗装されており、歩行者が多くなっています。 車椅子トイレが設置され、バリアフリー整備がされた中村池公園が立地しています。
	E.野作向野線	長野中学校前の両側歩道が整備された経路であり、植樹帯があるなど、西代 2 号線と同様のシンボリックな経路です。

経 路	路線名	経路の現況
準特定経路	a.国道 170 号 (国道 310 号 ～ラブリホール)	歩道未整備の区間があるなど、高齢者や障害者等の安全性確保に課題があります。
	b.国道 310 号 (野作向野線～)	両側歩道が整備されている経路ですが、歩道幅員の確保やすり付けなど、利用しやすさの面で課題があります。
	c.本町 1 号線	両側に歩道が確保されていますが、幅員が不足しています。施設の搬入口に近いことから駐車が多くなっています。
	d.原町喜多線	駅前広場のノバティ北館から、アーケードの本町通商店街を通る経路です。 路面がインターロッキング舗装されているなど、歩車共存道路としての整備がされており、歩行者が多くなっています。
	e.本町町井線 (アーケード)	商店街のアーケードであり、歩行者専用の経路ですが、看板や商品、駐輪などの障害物があります。
	f.西代古野 2 号線 (原町喜多線～ 国道 310 号)	原町喜多線から連続して、インターロッキング舗装されており、歩行者が多くなっています。
	g.長野駅前 1 号線	ノバティ南館敷地内に歩道が確保されています。
	h.国道 170 ～310 号 (駅東)	歩道が狭く、一部未整備の区間があります。
	i.浮世通線	一方通行規制がされていますが、歩道が未整備であり、縦断勾配が 10%を越える区間があるなど、基準に沿った整備が難しくなっています。

②長野中学校～河内長野市役所

野作向野線は、第3次総合計画に位置づけられたシンボリックな道路であり、両側歩道が整備されています。沿道には小中学校などの公共施設が立地しています。

国道170号大阪外環状線は、両側歩道が整備された広域的な幹線道路であり、沿道には市役所や警察署等の公共施設が立地しています。

一方で、河内長野市役所への最短の経路である西代本多1号線～野作台4号線は、歩道は未整備ですが、一方通行規制された歩車共存の経路として利用されています。

これらのことから、野作向野線～国道170号大阪外環状線を特定経路、西代本多1号線～野作台4号線を準特定経路として、バリアフリー整備を進めます。

表 経路の現状 長野中学校～河内長野市役所

経路	路線名	経路の現況
特定経路	F.西代2号線	ラブリールホール前の両側歩道や植樹帯が整備された経路であり、野作向野線と同じくシンボルロードとして位置づけられています。
	G.野作向野線	長野中学校前の両側歩道や植樹帯が整備された経路であり、西代2号線と同じくシンボルロードとして位置づけられています。
	H.国道170号 大阪環状線	両側歩道の整備された幹線道路であり、車輛の交通量が多くなっています。
準特定経路	j.西代本多1号線	長野中学校を経て国道170号に至る、一方通行規制された歩車共存の経路です。
	k.野作台4号線	河内長野市役所に至る経路であり、両側歩道の整備がされています。

(2) 移動経路及び駅前広場の課題

南海・近鉄河内長野駅～ラプリーホール～長野中学校

経路	路線名	ワークショップにおける意見	整備課題
特定 経路 準特定 経路	A.国道 170 号 (駅前広場～ 国道 310 号)	途中まで歩道整備がされているものの、歩道幅員が十分でない、交通量が多いなど、安全性の確保に課題がある	・歩道の幅員不足 ・横断勾配の改良 ・路側帯や側溝の改良
	B.国道 310 号	歩道幅員が狭く電柱等の障害物がある 歩道の傾斜やすりつけが急である グレーチングの目が粗いためはまってしまう	・目の粗い側溝蓋 ・歩道と車道の段差解消や勾配の改良
	E.野作向野線	歩道の傾斜やすりつけが急である 市役所、ラプリーホールへのルート表示がなく分かりにくい 歩道の傾斜やすりつけが急である	・分かりやすいサインの設置 ・歩道と車道の段差解消や勾配の改良
	f～D. 西代古野 2 号線	市役所まで○kmの表示	・サインの整備
	D. 西代古野 1 号線	歩道のすりつけが急	・歩道と車道の段差解消や勾配の改良



道の急な切り下げ
切り下げが急で、歩道にあがれない



歩道上の障害物
誘導ブロックのでこぼこや駐輪などが、狭い歩道ではじゃまになる



目の粗いグレーチング
目が粗いために、杖などが落ち込んでしまう



案内サイン
西代古野 2 号線へのサインが分かりにくい

経 路	路線名	ワークショップにおける意見	整備課題
準特定 経路	a.国道 170 号 (国道 310 号～ラブリールホール)	歩道整備が未整備であり、安全性の確保に課題がある	- 歩道の不連続 - 横断勾配の改良 - 路側帯や側溝の改良
	c.本町 1 号線	歩道幅員が狭く駐車など障害物がある	歩道の幅員不足
	d.原町喜多線	- 放置自転車、看板などの障害物がある - ハティ長野北館の搬入口に駐車がある - 誘導ブロックの色調が床材と同じで識別しにくい - 誘導ブロックが直線整備されていない - 市役所、ラブリールホールへのルート表示がなく分かりにくい - グレーチングの目が粗いためはまってしまう - 視覚障害者用信号機は片方のみの横断となっている	- 視覚障害者の誘導 - 看板や駐輪などの歩道上の障害物 - 目の粗い側溝蓋 - 分かりやすいサインの設置
	e.本町町井線 (アーケード)	放置自転車、看板などの障害物がある	看板や商品、駐輪などの通路上の障害物
	g.長野駅前 1 号線	—	歩道と車道の段差解消や勾配の改良
	h.国道 170 号～ 310 号 (駅東)	—	- 歩道の不連続 - 横断勾配の改良 - 路側帯や側溝の改良
	i.浮世通線	—	視覚障害者の誘導



商店街の駐輪
駐輪や看板が通行のじゃまになる



歩道幅員不足の道路
歩道幅員が不足しており、安全確保ができない

長野中学校～河内長野市役所

経 路	路線名	ワークショップにおける意見	整備課題
特定 経路	F.西代2号線	〳〳 グレーチングの目が粗いためは まってしまう	・目の粗い側溝蓋側 ・歩道と車道の段差解 消や勾配の改良
	G.野作向野線	〳〳 市役所、ラブリーホールへのルー ト表示がなく分かりにくい 〳〳 歩道の傾斜やすりつけが急であ る	・分かりやすいサイ ンの設置 ・歩道と車道の段差解 消や勾配の改良
	H.国道170号 大阪外環状線	〳〳 市役所、ラブリーホールへのルー ト表示がなく分かりにくい 〳〳 歩道の傾斜やすりつけが急であ る	
準特定 経路	j.西代本多1号線	〳〳 市役所、ラブリーホールへのルー ト表示がなく分かりにくい 〳〳 グレーチングの目が粗いためは まってしまう	・目の粗い側溝蓋 ・分かりやすいサイン の設置
	k.野作台4号線	〳〳 誘導ブロックの色調が床材と同 じで識別しにくい	・視覚障害者の誘導



誘導ブロック上の障害物
誘導ブロック上の駐輪



視覚障害者用信号機
国道を横断する方向のみでなく、反対方向に
も音声誘導がほしい

駅前広場

	ワークショップにおける意見	整備課題
駅前広場	- 公衆電話の車椅子利用者対応。 - バス停の低床バス対応（高さや乗り込み位置）。 - 車椅子通過の車止めの間隔確保。 - 歩道の横断勾配がきつい。 - 歩道に駐輪が多い。 - 車椅子用トイレのサインが小さい - 車椅子トイレにベビーチェアが必要 - 車椅子トイレに手すりが必要 - 車椅子便房内の緊急通報がない - 車椅子用トイレの誘導ブロック未整備 - 窓口センターの標示が分かりにくい - 誘導ブロックの色調が床材と同じで識別しにくい - 誘導ブロック上に車止めが整備 - バス停の支柱が障害物となっている - 一般車両の車寄せが少ない	- 駅前広場→改札の段差の解消 - バス停の低床バスへの対応 - 歩道と車道の段差解消や勾配の改良 - 分かりやすいサインの設置 - 車椅子トイレの安全性の確保 - 子ども連れも利用しやすい車椅子トイレ - 視覚障害者の誘導 - 障害者停車スペースの確保



バス停 ベンチ、柵がバリア
車椅子用の低床バス乗車口がない



駅前広場の車止め
車椅子の通過には狭い



駅前広場のトイレサイン
サインが小さいため見にくい



バスの時刻表
もっと大きく、見やすく

4. 交通安全施設の現状と課題

信号機等の交通安全施設の現状と、ワークショップにおいて、参加者から出された意見は以下のとおりです。

表 信号機等の現状と課題

箇 所	現 状	ワークショップにおける 利用者の要望	整備課題
共通事項	・特定経路について福祉対応型の信号機が整備されていない ・既設の福祉対応の信号機は、音声誘導が一方向の横断のみとなっている ・交差点の警告ブロック位置と、福祉対応信号機の操作盤位置が一致していない	—	
市役所前 交差点	・音響式の福祉型信号機が整備されている	【視覚障害者】 ・歩行者信号機の時間が少ない。 ・点字信号機の点字が取れている箇所がある。	特定経路における福祉対応型の信号機整備
本町 交差点	・音響式の福祉型信号機が整備されている	【視覚障害者】 ・国道 170 号を横断する側のみ音声誘導がされており、異なる横断方向にも音声誘導が欲しい。	東西・南北両方向に音響式信号機の設置
本町北交差点	・音響式の福祉型信号機が整備されている	【視覚障害者】 ・視覚障害者用信号機のサインの上に看板があつて見えない。	
長野小学校前 交差点	・押ボタン式信号機が整備されている	【妊産婦、高齢者】 ・押しボタンが連動し、待ち時間が長い時がある。	
長野町交差点	・音響式の福祉型信号機が整備されている	【妊産婦、高齢者】 ・音響式が一方にあるが他方はない。音を変えて両横断方向に必要である。	

VI 特定事業の内容

1. 公共交通特定事業

重点整備地区内における特定旅客施設等について実施すべき事業の内容は、次のとおりです。事業について、概ね5年以内の実施を前期、5年から10年以内の実施を後期として、事業の実施期間を示しています。

(1) 南海河内長野駅

整備項目	事業の内容	前期	後期
改札口からホームへの段差解消	エレベーター整備による改札口から各ホームの段差解消		
誰もが利用できるトイレの設置	車いす利用者用の便所を整備し、折りたたみ式ベビーベッドなどの子育て支援設備を設置		
視覚障害者の情報提供 や誘導 聴覚障害者の情報提供	・構内案内図(点字併用)や誘導サイン類など わかりやすい案内標示の整備・改善 ・列車接近表示の整備等		

特定事業以外の整備項目と事業内容

誰もが利用しやすい券売機の設置等—券売機の改善の検討、サービスの向上
ホームの安全性確保—誘導ブロック（警告）の改善

(2) 近鉄河内長野駅

整備項目	事業の内容	前期	後期
改札口からホームへの段差解消	エレベーター整備による改札口から各ホームの段差解消		
誰もが利用できるトイレの設置	車いす利用者用の便所を整備し、折りたたみ式ベビーベッドなどの子育て支援設備を設置		
視覚障害者の情報提供 や誘導 聴覚障害者の情報提供	・構内案内図(点字併用)や誘導サイン類など わかりやすい案内標示の整備・改善 ・列車接近表示の整備等		

特定事業以外の整備項目と事業内容

誰もが利用しやすい券売機の設置等—券売機の改善の検討、サービスの向上
ホームの安全性確保—誘導ブロック（警告）の改善

(3) バス交通

整備項目	事業の内容	前期	後期
バス車輛やバス停の バリアフリー化	低床バスの導入 バス車両内・バス停における案内の改善		
バス交通の総合対策	バス交通の利便性を向上を図るため、バス 交通ネットワークの充実を図る		

2. 道路特定事業

重点整備地区内における特定経路等について、管理者ごとに下記の事業を実施します。

(1) 道 路

共通事項

移動経路	事業の内容	前期	後期
共通事項	案内サインの整備 歩道の横断勾配の改良 歩道のすり付け部段差や勾配の改良 側溝蓋の改良 等		

南海・近鉄河内長野駅～ラブリールホール～長野中学校

移動経路	事業の内容	前期	後期
特定経路	A.国道 170 号 (駅前広場 ～国道 310 号)		
	B.国道 310 号		
	C.西代古野 2 号線 D.西代古野 1 号線		
	E.野作向野線		
移動経路	事業の内容		

準特定 経路	a.国道 170 号 (国道 310 号～ ラブリール)	歩道の確保 連続した歩道の整備 歩道上の障害物の撤去 路肩改良及び側溝の改良
	c.本町 1 号線	歩行者の安全確保
	d.原町喜多線	識別しやすい誘導ブロックの再整備 歩道上の障害物の規制
	e.本町町井線 (アーケード)	通路上の障害物の規制 視覚障害者誘導ブロックの整備
	f.西代古野 2 号線	視覚障害者の誘導 歩行者の安全確保
	g.長野駅前 1 号線	歩行者の安全確保 視覚障害者誘導ブロックの整備
	h.国道 170 号～ 310 号 (駅東)	歩道の確保 歩行者の安全確保 視覚障害者誘導ブロックの整備
	i.浮世通線	視覚障害者の誘導

長野中学校～河内長野市役所

移動経路		事業の内容	前期	後期
特定経路	F.西代 2 号線	視覚障害者誘導ブロックの整備		
	G.野作向野線			
	H.国道 170 号 大阪外環状線	視覚障害者誘導ブロックの整備		
準特定 経路	j.西代本多 1 号線	視覚障害者の誘導 歩行者の安全確保		
	k.野作台 4 号線	視覚障害者誘導ブロックの整備		

3. 交通安全特定事業

重点整備地区内における特定経路等について、実施すべき事業の内容は次のとおりです。

特定経路等	事業の内容	前期	後期
交通安全施設	・視覚障害者に配慮した信号機（時間延長型等）への改良と、両方向への設置		
	・高齢者・身体障害者等が安全に通行するために必要な交通規制の実施及び道路標識・道路標示の設置 ・違法駐車車両の取り締まり強化や、違法駐車防止に関する広報・啓発活動等の実施		

4. その他の事業 駅前広場

	事業の内容	前期	後期
駅前広場	・エレベーター整備による駅前広場から改札口に至る段差の解消		
	・低床バス対応のバス停の整備 ・障害者停車スペースの確保 ・視覚障害者誘導ブロックの改善 ・サインの改善 ・歩道の段差解消・勾配の改良 車止めの改良 ・車椅子トイレの改良 折りたたみ式ベビーベッドなど子育て支援設備の設置 緊急通報の設置		

VII 今後の課題

附帯意見

―河内長野市移動円滑化基本構想推進における今後の課題として―

河内長野市移動円滑化基本構想策定委員会は、平成13年8月30日の初会合から3回にわたり、基本構想の内容について議論を重ねてきました。その間に、高齢者や障害者、妊産婦等の参加によるワークショップ（全2回）や、基本構想骨子案についてパブリックコメントを実施するなど、計画づくりへの市民参加を進めてきました。

これらの経過を経て、河内長野市移動円滑化基本構想の最終案として、とりまとめを行いました。当委員会としては、この計画に基づき、今後の具体的な事業が推進されるよう期待しています。

さらに、議論の過程で、現段階では基本構想に盛り込むことが困難であった施策や事業については、今後の課題として継続的な検討が求められています。このために、その内容について附帯意見として附記し、河内長野市・大阪府・交通安全事業者・公共交通事業者・市民の協働の基で、実現化に向けて取り組まれることを併せて希望するものです。

- 1 全市的な整備方針に基づき、重点整備地区（南海・近鉄河内長野駅周辺）以外の地区についても、移動円滑化の取り組みを進めること。また、計画期間の中間年において事業の進捗状況を評価し、必要に応じて計画の見直しを行うこと。
- 2 これらの取り組みについては、基本構想策定時と同様に、河内長野市・大阪府・交通安全事業者・公共交通事業者・市民が協働で行うこと。また、市民に情報を公開し、市民の参加を求めること。
- 3 本市のシンボルロードである国道170号のバリアフリー整備について、河内長野市・大阪府・交通安全事業者・公共交通事業者・市民の協働の基で、実現化に向けて検討を継続すること。
- 4 重点整備地区の基本構想に盛り込まれていない経路についても、面的な移動円滑化の整備に努めること。
- 5 困っている人への手助けや不法駐車・駐輪をしないなど、市民意識の醸成や、各種事業者のサービスの向上といった「心のバリアフリー」についての取り組みについても実施していくこと。

平成14年3月26日

河内長野市移動円滑化基本構想策定委員会